



長浜タウンウォークラリー

～複数の問題コースでおこなうウォークラリー～

活動のねらい ●班の友だちと協力して長浜の歴史や文化などに関わる問題に答え、ウォークラリーを楽しみながら、ふれあいや交流を深める。	【時期】 通年
	【場所】 長浜市街
	【時間】 70分～120分
	【準備物】 地図、解答用紙、筆記用具、ゼッケンビブストランシーバー、腕章

主な活動の流れ

班で協力して長浜をたんけんしよう

事前学習

●班で長浜タウンウォークラリーをすることを知らせる

- ・長浜について、本やインターネットで調べる。
- ・ウォークラリーの仕方やねらいを知る。

フロートイニングスクール

●長浜タウンウォークラリーをする

- ・時間やルールなどを確認する。
- ・班によって問題が違うことを知る。
- ・問題を解きながら、各チェックポイントを回る。
- ・「湖の子」のタペで、各問題コースごとに表彰する。



事後学習

●活動をして思ったことや感じたことをまとめる。

- ・ウォークラリーをして心に残ったことや発見したことなどを、新聞等にまとめたり発表をしたりする。

複数の問題コースを設定するよさ

- ・答えを探す時に班が重なっていても班としてまとまり、班内のふれあいや交流の深まりがより期待できる。
- ・出発の間隔を短くしたり、同時に二つの班を出発させたりできるため、夏の暑さや冬の寒さが厳しい時などスタート前やゴール後の待ち時間を短くすることができる。
- ・児童が進むコースを一方向で実施の場合、全ての班の通過時間も短くなるため、引率者が複数のチェックポイントを担当(児童が通過したチェックポイントから他のチェックポイントへ移動)することにより、引率者数が少なめでもウォークラリーを実施することが可能になる。
- ・それぞれの問題コースごとに表彰することで、入賞できる機会を増やすことができ、互いに称えあう場を広げることができる。